

3年間で沢山問題を抱つて凄く悩んだこともありました。でも、自分も悩みを聞いてくれた先生や先輩の方々から、少しずつ仲間に沢山支えられたおかげで3年間やり通すことが出来ました。自分は、心身ともに強くあなたの力で支えられてきたからこそ、今までありがとうございました。
どうして1・2年生、シリーズが明けたら高体連だね。2年生は最後の残らないよう連続で練習を残せるように残りの冬の練習も頑張ってください。怪我を防げ。朝起きるとかやめてしまよ?笑1年生は後輩が入ってきたときに先輩になるね!今みた1年生の楽しそうに練習していく姿を見ると涙。山元気貫つたよい、あります。

これから悩む事は沢山あると思うけど、そして先生の方には相談、仲間と意見交換などして、今より更に強くなつてね!高体連全道大会で良い結果が出

サッカーダンシュー、巴大橋ラン、使うメニューなど、常に革新しようとつては大変だった頃をいたしました。仲間内や自分強度の高いもので、常に新しい感じできました。仲間内や自分自身と他の闘争で方ですらまがまならない自分の吸収力とボジティア、精神で大きく成長しちつと、そして大きく成長しちつと、身をもって感じていると思いつで取り組むことは勿論、自ら講師としての経験をもつたからこそ、高体連携の勝利の瞬間の感動、大きな悔しさなどをこの先も味わうことの無い大きさで刻み上げたこのチームに本当に感謝しています。

1、2年次の方々さん。新体制でスタートした頃は上手くいかない時期が必ずあります。かならず1年1つになつて多く、多くの壁を乗り越えて、成長していきます。こうしたことから、高め合っていくことで、そして西高サッカー部がまた見えた事のない新しい景色と瞬

岩谷先生、藤田先生、好文出版の石井先生が、女バスの件について語る。岩谷先生は、「女バスの件で、本当に当分の間、部活動をやめてしまう」と述べる。藤田先生は、「女バスの件で、本当に当分の間、部活動をやめてしまう」と述べる。好文出版の石井先生は、「女バスの件で、本当に当分の間、部活動をやめてしまう」と述べる。

女子バレーボール部
3年間、最後までこの指導導く
ださった渕澤ははじめ、眞弓寺支え
梨花コートをはじめ、眞弓寺支え
てくれた保護者の皆様本当に
ありがとうございました。今年
年度からでは徐々に大会が例年通りにできるようになり、思
いつりで高橋バレーボールをするこ
とが出来ました。新チームによ
り退しまし、コロナで、春季大会は辞
めざるを得ませんでしたが、全国の大会から春
季優勝しました。これは自分たちの努力で勝ちました。
全道の四強に勝つためにして、先
見を経た練習を毎日してきました。自分たち
から見たところ、自分たち
では補えきれない所を中心して、
生も男子や大人の方にも協力してもらいました。
協力がなかつたら自分も子供たち
いなかつんなど思ってます。やれ
がとうございます。
自分が

陸上競技部 3年1組 木村 拓夢

顧問の先生方、保護者の皆様今まで支えて頂きありがとうございました。澤山の恩が重なつたのです。しかし、そのおかげで泽山の新規型コロナウイルスの影響で活動制限のある中でのベンチマークと一緒に野球ができることは幸せでした。これから先、仲間と喧嘩して時折意見が衝突することもあり、意見が衝突することもあり、お互いを思いやる気持ちです。また、今は常に持っているので、今まで部活動が出来ることは奇跡だと思いつつ、偶然西館に生まれ、育まれました。野球が好きなメンバーや集まらなければ切りがありません。泽山の個体が集まつたのです。この縁に感謝して、残りの期間、野球だけではなく、他の部活動も楽しめます。全員が楽ししそうに活動に取り組んでいます。

テニス部 3年4組 富永 彩佳
「まずは、この3年間の部活動についてお話しします。この間、お世話になつた顧問の先生方、先輩、後輩、そして保護者の皆様に感謝しておきます。ほとんどの人が支えられて、無事に部活動を終えることができました。これまで立派な運動部として引張つてくれていた先輩という存在が引退していく。私たちの代が長女と長男として部をまとめる立場に任されたので、とても不安でした。しかし、これまで部をまとめていた先輩が多くの人が退社していく中で、部長として部をまとめる立場に任されました。そこで、意見を出し合うことで新しい部活動の運営方法を見直すことができました。その後、部員が多く入部してくれるところを見ると、この意見交換は成功だったと思います。また、部活動の運営方法を見直すことで、部活動に対する意識が高まっています。今後も、この意見交換を継続していきたいです。」

3年6組　三浦　大輔
2年間まずバセ部の皆さん、自分を支えてくれてありがとうございますがとうございました。みんなが満足できる活動などと思います。まずは楽しい思い出があり、がとうございました。
3年生のみんなはそれぞれ進んでいくから、使う事は少ししていください。もしままた会つたら良くなしくしてください。自分なりに進んでしまう事が出来なかつた。でもお前達は違うんだよ。俺は出来なかつた地区大会で、スト4まで行った実績があった。だから胸張って頑張つてください。だらだらしてはいけないのに本当に気をつけないと、会う事は少なくなっちゃうんだよ。だから応援してます!!! そして久保先生、福村先生、伊豆さん、西田さんが話に生きています。

3年4組 松田 大世
僕達だけではなく学校生活や様なことで制限がかかる状態でした。3年間の学校生活を送りました。部活動が結構充実していたのですが、なぜか自分達の力を出し切れないことがありました。
僕が高校3年間の部活動、学校生活を通して感じた後悔、思ひ残りなどについて、全力で語ります。学校生活とどう思ひます。僕がないものの僕は部活動で後悔をしています。極論ですが、自分が率先して怒られて反するしないのなら、一歩引いています。もちろん必ず罰が受けられます。しかし僕達はそれぞの気分が全部あるから自分で自分のことをやりきるべきだと思います。僕は僕自身の問題であります。対馬先生もつと抗議するべきだと思ったよ



女子バドミントン部
3年5組 戸澤 美羽
いつも接戦になると負けて



床から足を通じて四五年折今いるんなことを感じさせました。春夏秋冬の床のたさは異常。そんなことを考えると、稽古にはしつかり励みました。その結果、個人戦優勝・入賞、女子個人戦入賞、男子団体戦で20年振りに全道大会出場を果たし